



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社  
 コード番号 9880 URL <http://www.innotech.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 敏彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 棚橋 祥紀 TEL 045-474-9000  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,403	△1.2	280	37.9	287	8.8	147	△11.2
28年3月期第1四半期	7,496	19.9	203	△36.8	264	△24.8	166	△35.9

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 39百万円 (△51.5%) 28年3月期第1四半期 80百万円 (△63.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	8.42	8.16
28年3月期第1四半期	9.49	9.24

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	29,552	23,943	79.2
28年3月期	29,798	24,027	78.8

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 23,404百万円 28年3月期 23,473百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	△5.6	850	△16.0	980	△15.7	600	△18.9	34.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	18,218,901株	28年3月期	18,218,901株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	653,557株	28年3月期	653,557株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	17,565,344株	28年3月期1Q	17,565,442株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き個人消費が抑制傾向にあるほか、年明け以降の円高・株安により企業業績の悪化が懸念されるなど、景気回復は足踏み状態となっております。また、中国をはじめとする新興国経済の停滞や英国のEU離脱問題など、先行きについて不透明な状況も懸念されます。

当社グループが参画いたします先端エレクトロニクス業界におきましては、自動車産業向けの車載機器関連やスマートフォンやタブレット端末等の通信機器関連が概ね堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高74億3百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益2億80百万円(同37.9%増)、経常利益2億87百万円(同8.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億47百万円(同11.2%減)となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

## 〔設計開発ソリューション事業〕

設計開発ソリューション事業は、高付加価値製商品及びサービスの提供により、新規顧客開拓や既存顧客との関係強化を図るなど積極的な営業活動に努めてまいりました。主力商品の半導体設計用(EDA)ソフトウェアは、長期契約の更新や既存顧客の需要増により概ね好調に推移いたしました。自社製CPUボード等の組み製品は、インフラ向けの受注等があったものの、前年同期実績には及びませんでした。また、ガイオ・テクノロジー株式会社の組みソフト検証ツール及びエンジニアリングサービスは、車載関連向けのエンジニアリングサービスの需要増などにより好調に推移いたしました。三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、稼働率の落ち込みが改善いたしました。アイティアアクセス株式会社は、受託開発が好調に推移したものの、組みソフトウェアのライセンス販売が落ち込みました。

その結果、当事業の売上高は42億74百万円(前年同期比4.6%増)、セグメント利益は1億68百万円(同38.1%減)となりました。

## 〔プロダクトソリューション事業〕

プロダクトソリューション事業は、半導体メモリー市場、OA・FA市場の既存顧客を中心に当社グループのエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に注力してまいりました。また、顧客ニーズに対応した製品の開発、商品の開拓に積極的に取り組んでまいりました。自社製テストシステムは、イメージセンサー向けテスターの販売増により好調に推移いたしました。ハードディスクドライブを含む電子部品部門においては、OA市場を中心に好調に推移したものの、前年度の高画質デジタル機器対応チップの取引終息の影響により売上高は減少いたしました。また、STAr Technologies, Inc. は信頼性試験装置等が伸び悩んだものの、原価率の低減により収益性の改善が見られました。

その結果、当事業の売上高は31億29百万円(同8.3%減)、セグメント利益は2億20百万円(同432.9%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、295億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億45百万円減少しております。これは主に、現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金や商品及び製品が減少したことなどによるものであります。

一方、負債は56億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億61百万円減少しております。これは主に、未払法人税等が減少したことなどによるものであります。

純資産は239億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円減少しております。これは主に、為替換算調整勘定が減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は79.2%となり、前連結会計年度末に比べ0.4ポイント増加しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月12日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,917,946	4,628,444
受取手形及び売掛金	7,561,942	7,210,643
商品及び製品	1,912,075	1,413,978
その他	2,662,209	2,683,620
貸倒引当金	△19,309	△1,296
流動資産合計	16,034,865	15,935,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,905,117	7,907,209
減価償却累計額	△4,073,091	△4,105,908
建物及び構築物（純額）	3,832,025	3,801,301
土地	5,665,131	5,665,131
その他	1,595,996	1,572,834
減価償却累計額	△1,102,336	△1,092,578
その他（純額）	493,659	480,256
有形固定資産合計	9,990,817	9,946,689
無形固定資産		
のれん	1,321,352	1,268,303
その他	349,759	334,679
無形固定資産合計	1,671,111	1,602,983
投資その他の資産		
投資有価証券	929,305	851,188
その他	1,172,897	1,216,725
貸倒引当金	△144	△2
投資その他の資産合計	2,102,059	2,067,912
固定資産合計	13,763,988	13,617,584
資産合計	29,798,853	29,552,974

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,303,040	1,126,897
未払法人税等	385,198	139,856
賞与引当金	139,895	182,839
役員賞与引当金	—	5,743
その他	3,414,138	3,654,722
流動負債合計	5,242,272	5,110,060
固定負債		
役員退職慰労引当金	78,705	80,897
退職給付に係る負債	160,586	159,591
その他	289,314	258,639
固定負債合計	528,606	499,128
負債合計	5,770,879	5,609,188
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	7,324,064	7,324,064
利益剰余金	5,818,853	5,843,876
自己株式	△258,574	△258,574
株主資本合計	23,401,503	23,426,526
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,028	24,271
繰延ヘッジ損益	3,119	28,575
為替換算調整勘定	10,734	△87,542
退職給付に係る調整累計額	15,205	13,028
その他の包括利益累計額合計	72,087	△21,665
新株予約権	268,839	268,839
非支配株主持分	285,542	270,084
純資産合計	24,027,974	23,943,785
負債純資産合計	29,798,853	29,552,974

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）
売上高	7,496,565	7,403,504
売上原価	5,625,340	5,382,267
売上総利益	1,871,225	2,021,236
販売費及び一般管理費	1,667,630	1,740,426
営業利益	203,594	280,810
営業外収益		
不動産賃貸料	109,574	115,091
その他	62,439	38,645
営業外収益合計	172,014	153,737
営業外費用		
不動産賃貸費用	86,637	83,724
為替差損	6,445	51,729
その他	17,961	11,280
営業外費用合計	111,044	146,734
経常利益	264,564	287,813
特別利益		
固定資産売却益	—	99
特別利益合計	—	99
特別損失		
投資有価証券評価損	—	25,991
特別損失合計	—	25,991
税金等調整前四半期純利益	264,564	261,922
法人税等	106,991	120,571
四半期純利益	157,573	141,350
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△9,051	△6,629
親会社株主に帰属する四半期純利益	166,624	147,980



（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）
四半期純利益	157,573	141,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,284	△18,756
繰延ヘッジ損益	4,214	25,456
為替換算調整勘定	△98,573	△106,860
退職給付に係る調整額	△7,126	△2,176
その他の包括利益合計	△77,201	△102,337
四半期包括利益	80,371	39,012
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,122	54,226
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,751	△15,213

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,085,419	3,411,146	7,496,565	—	7,496,565
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,839	244	7,083	△7,083	—
計	4,092,258	3,411,390	7,503,649	△7,083	7,496,565
セグメント利益	271,773	41,417	313,190	△109,595	203,594

(注) 1. セグメント利益の調整額△109,595千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△108,234千円及び棚卸資産の調整額△1,361千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,274,190	3,129,313	7,403,504	—	7,403,504
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23,692	449	24,141	△24,141	—
計	4,297,882	3,129,763	7,427,645	△24,141	7,403,504
セグメント利益	168,307	220,709	389,016	△108,206	280,810

(注) 1. セグメント利益の調整額△108,206千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△117,406千円及び棚卸資産の調整額9,199千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。